

函 企 画

令和8年(2026年)4月3日

報道機関各位

企画部移住・人口減担当課長

函館市移住サポーター委嘱状交付式の取材および報道について(依頼)

このことについて、下記のとおり開催いたしますので、取材および報道方
よろしく申し上げます。

記

- 1 日 時 令和8年(2026年)4月8日(水) 午後2時00分～
- 2 会 場 函館市地域交流まちづくりセンター2階 研修室B
(函館市末広町4番19号)
- 3 委嘱の目的 移住検討者や定住者からの移住・定住に関する相談対応等
を通して、本市への移住・定住を促進するため。
- 4 移住サポーター(3名) ※再任
(1) 田胡 直子(たご なおこ)氏
(2) 津熊 智江(つくま ともえ)氏
(3) 北條 壮史(ほうじょう そうし)氏
※経歴等は別紙のとおり
- 5 委嘱期間
令和8年(2026年)4月1日から令和10年(2028年)3月31日まで

企画部移住・人口減担当
電話：21-3688

函館市移住サポーターについて

1 移住サポーターの役割

- (1) 本市に移住を検討している者の移住や本市に移住した者の定住に関する相談対応
- (2) 移住および定住を促進するために必要な情報の発信
- (3) 移住および定住に関連するイベント等への協力
- (4) その他、前条の目的を達成するために必要な活動

2 委嘱要件

- (1) 18歳以上で、市外（渡島・檜山管内の市町を除く。）から本市に移住した者
- (2) サポーターの活動内容等を理解し、移住検討者および移住者を支援する取り組みに対して意欲がある者

3 サポーター（3名とも再任）

（五十音順・敬称略）

- (1) 田胡 直子（たご なおこ）[南茅部在住]



- 群馬県出身。令和5年12月に本市へ移住
- 移住前には観光バスガイドなどに長く従事
- 南茅部地域おこし協力隊として地域協力活動を実施

- (2) 津熊 智江（つくま ともえ）[旧市内在住]



- 広島県呉市出身。大阪，奈良，アメリカ合衆国など海外居住を経て，令和元年4月に本市へ移住
- 市伝統的建造物「古稀庵」を取得

- (3) 北條 壮史（ほうじょう そうし）[榎法華在住]



- 神奈川県出身。令和5年2月に本市へ移住
- 本市移住前は山岳・水難救助隊（神奈川県警）に従事
- ジビエを扱う会社「熊鹿庁」代表を務めながら，榎法華のまちおこしグループ「RISEMAN（ライズマン）」の代表として活動